

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	非小細胞性肺癌の病理学的悪性度予測におけるDual Energy CTを用いた定量解析とMRI ADCヒストグラム解析、F-18 FDG PETによるMetabolic volume・Total lesion glycolysisの有用性の比較検討
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 放射線医学 助教 道合万里子
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2019年3月31日
対象者	2012年1月～2018年12月までの間に術前に造影Dual Energy CT, 拡散強調MRI検査, F-18FDG PET検査を施行し、病理組織学的に非小細胞肺癌と診断された患者さん
当該研究の意義・目的	非小細胞肺癌の術前の悪性度の評価としてはF-18 FDG PETによるSUV maxが指標として使われていますが、腫瘍全体をとらえたものではありません。MRI DWIのADC ヒストグラム解析やF-18 FDG PETのMetabolic volume、Total lesion glycolysisは腫瘍全体をとらえたものであり、悪性度の評価としてはより正確であることが考えられます。術前に撮影された画像からこれらを測定し、病理学的悪性度の相関を検証することによって、より高精度の術前の悪性度予測の指標が得られることが期待できます。また、Dual Energy CTでの定量解析が可能となっておりその有用性が検証されれば検査の簡便さからも有効な検査・評価法となり得ることも期待できます。
方法および研究で利用する試料・情報について	術前に撮影された造影Dual Energy CT, F-18 FDG PET, 胸部MRI画像を用いて、後ろ向きに解析ソフトを使用しF-18 FDG PETよりSUV max、Metabolic volume、Total lesion glycolysisの測定、拡張強調MRI検査よりADC ヒストグラム解析、Dual Energy CTよりヨード含有量、脂肪含有量の測定を行います。それぞれの項目に対し病理組織学的悪性度やリンパ節転移の有無による比較検討を行い、有用性を検討します。 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。電子カルテ等から上記期間中に得られた情報を収集し、本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 <利用情報> 術前に撮影された造影Dual Energy CT, F-18 FDG PET, 胸部MRI画像 等
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 放射線医学 助教 道合万里子 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 TEL：076-286-2211（内線：3236） FAX：076-286-8096, E-mail: radiol@kanazawa-med.ac.jp

作成日： 2018年2月20日